

房総でアカイカタケを発見

夷隅郡市自然を守る会 大藪 健

- ・日時：2004年9月23日 12時頃発見
- ・場所：いすみ市岬町中原4267番地付近
- ・環境：高台に位置し、椎木堰と中原堰に挟まれた舗装されていない道路の脇。道路はスダジイなど樹木の枝に被われ薄暗い。地面も落ち葉に被われ、かなり湿っている。

その日はシダの幼植物のついでに前葉体を探していたところ、私にとっては見たことの無い一際鮮やかなキノコであったので発見できた。すぐに自転車で、5分くらいの自宅に戻り、デジカメを用意してあらゆる角度からそのキノコを撮影。私には臭いは感じられなかったが（接するようには臭いを嗅がなかった）、1匹のハエが、しつこく、逃げることもなく、アカイカタケの傘の表側に動き回っていたので、ハエには堪らない臭いをキノコから発していたのではないと思われる。次の日観察したところ、すでに形を崩しており、かなり萎みかけていた。

アカイカタケ *Aseroe rubra* Labill (担子菌門 ハラタケ綱 スッポンタケ目・科) は千葉県では初記録。京都府の絶滅危惧種のウェブページ (執筆：吉見昭一, <http://www.Pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/bio/db/fun0003.html>) によれば、1935年京都市鞍馬山にて浜田稔氏が日本で初めて発見、主に西日本にみられ(福岡県、大分県、高知県、愛媛県、滋賀県、京都府、岐阜県、愛知県、静岡県)、汎熱帯性(オーストラリア、ニュージーランド、スマトラ島、ジャワ島、スリランカ、タスマニア島、南アメリカ、メキシコなど)のきのこであるという(編集注)。



アカイカタケを上から見たところ



林相 2009年3月4日撮影